

幻の靉岡廃寺に迫る

小田桐 淳

平成 26 年 7 月 12 日

1. はじめに

古瓦採集の歴史

2. 靱岡廃寺の沿革

- ・7世紀末～8世紀前半頃の創建

弟国郡鞆岡郷 (or 長井郷) の豪族寺院 (田辺史氏)

『弟国評鞞岡三』（藤原京出土木簡）

八幡市志水廃寺境内瓦窯との関係

- ・長岡京期

京内にあり官寺化

- ・長岡京廢都後

百濟王氏との関係

嵯峨朝頃まで存続か

3. 飛鳥・奈良時代の道路

(丹波街道) = 古山陽道・山崎→(丹波街道)→古山陰道・大枝

(物集女街道)

- ・道路と靱岡廃寺

4. 長岡京と靱岡廃寺

- ・ 靱岡廃寺の官寺化

大量の都城系軒瓦の出土

- ・京内官寺としての役割

早良親王を幽閉（乙訓寺）：政治利用

「京下七寺読経」：宗教利用

(都の入り口としてのモニュメント的存在)

5. まとめ

- ・ 靱岡廃寺の地理的な位置が重要

京都盆地の入り口、長岡京の入り口にあたる

(参考：平安京の東寺、西寺)

中・近世の勝龍寺城)

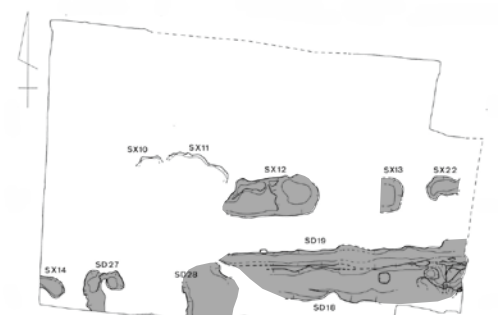
2図 鞆岡廃寺の範囲想定図



右京第 244 次調査



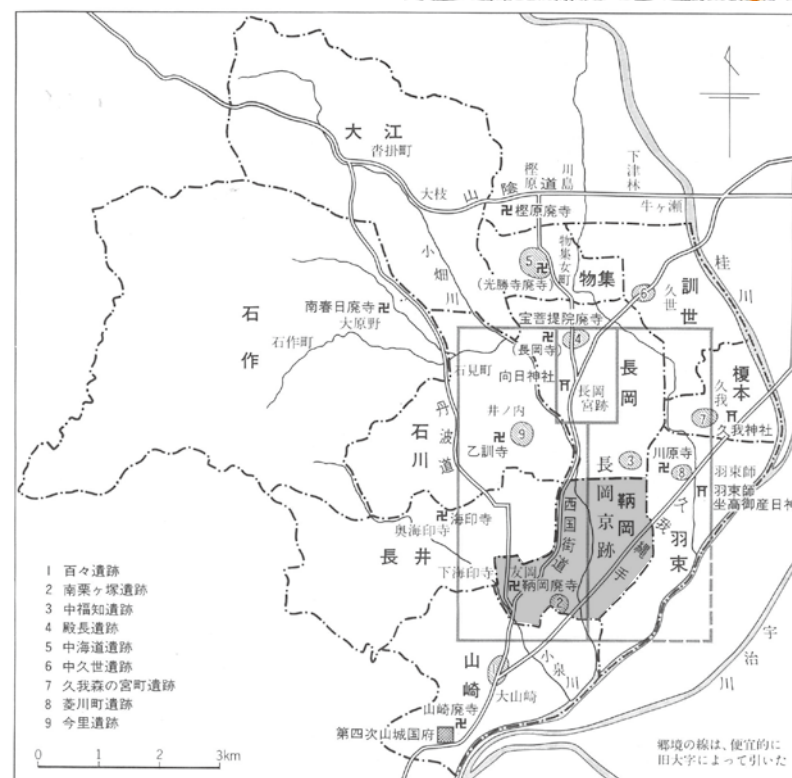
右京第 616 次調査



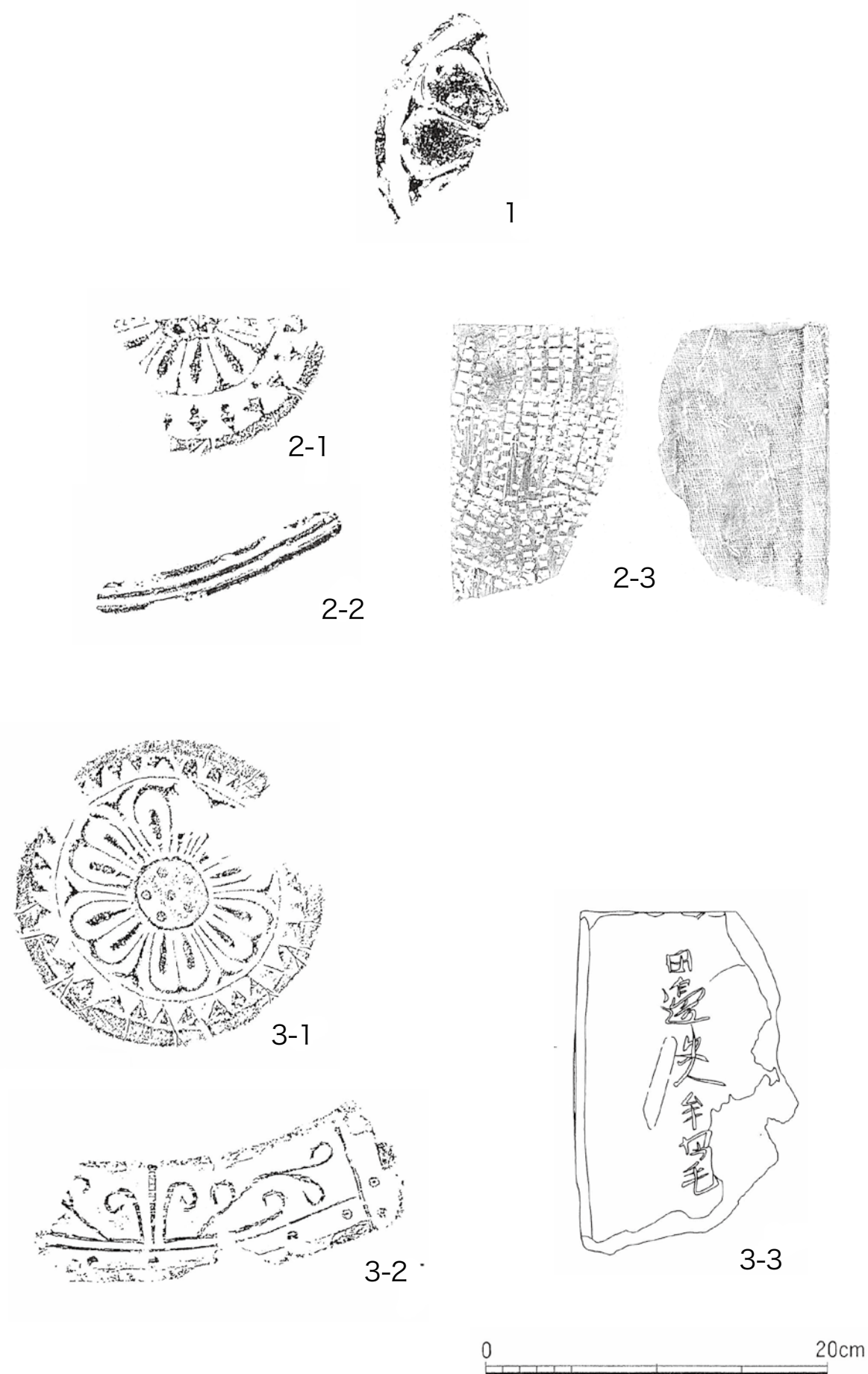
右京第 129 次調査



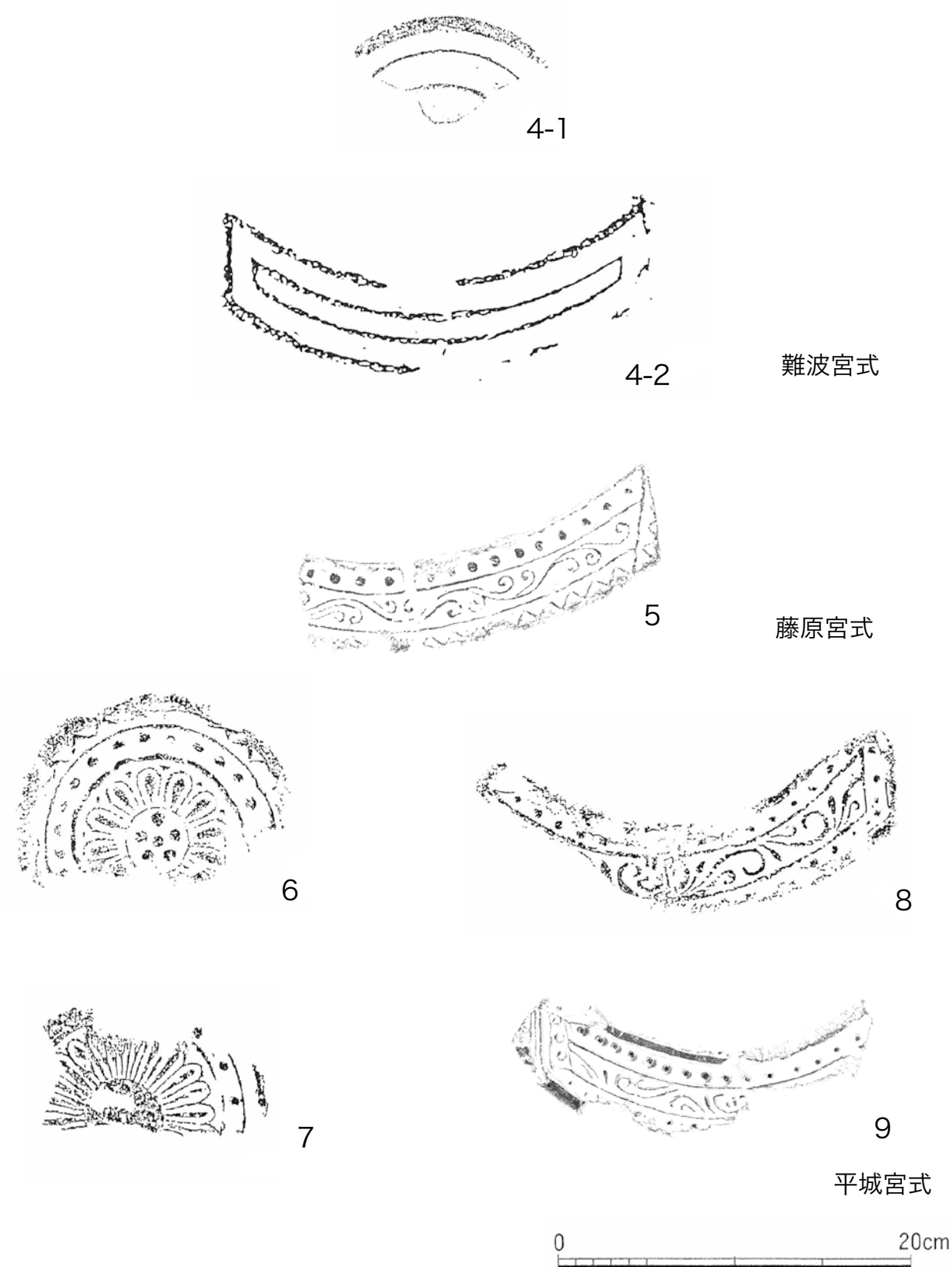
1 図 平安時代の遺跡と郷名
(『長岡京市史 本文編一』より)



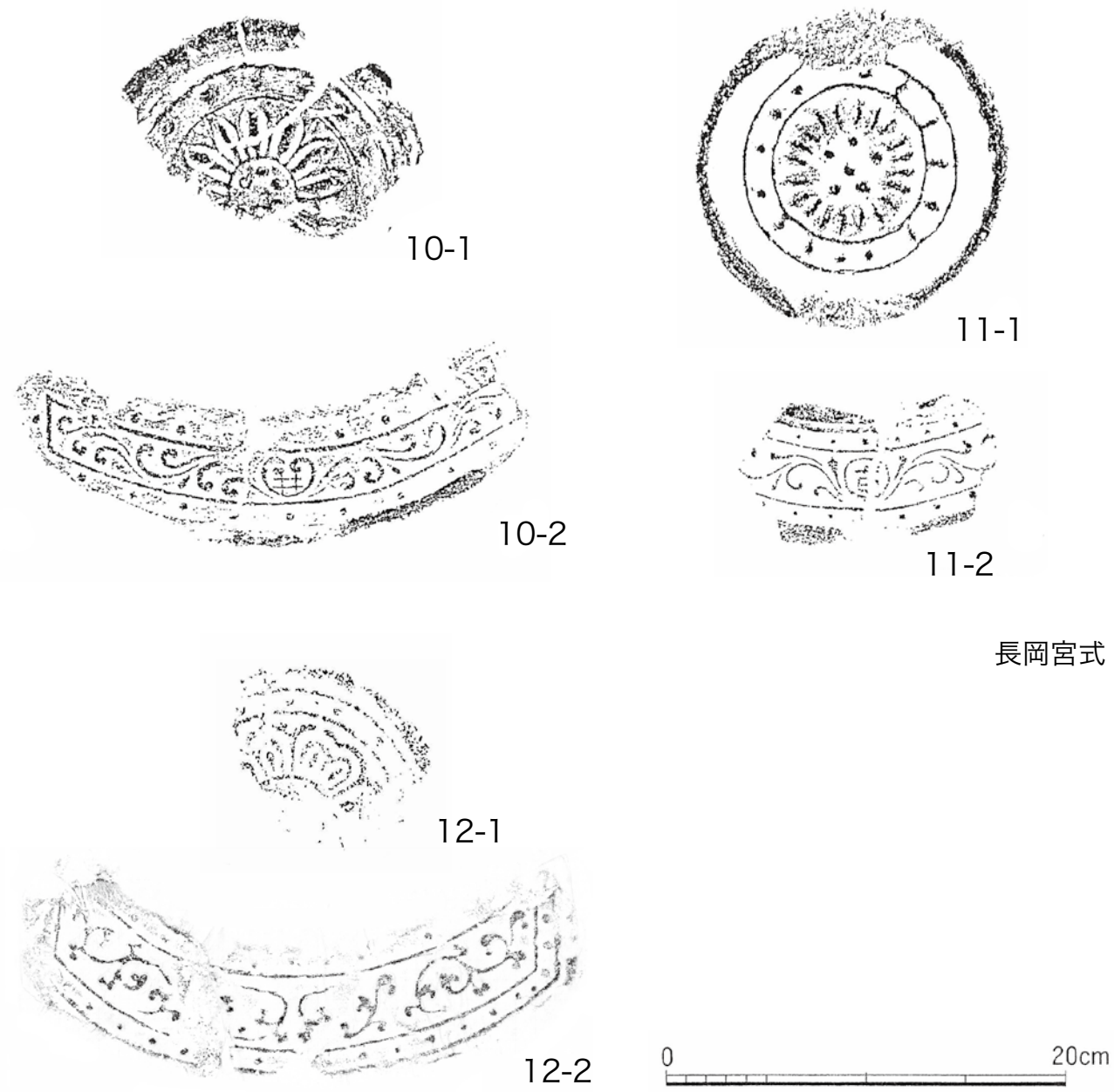
3図 鞆岡廃寺出土の軒瓦 1（飛鳥～奈良時代）



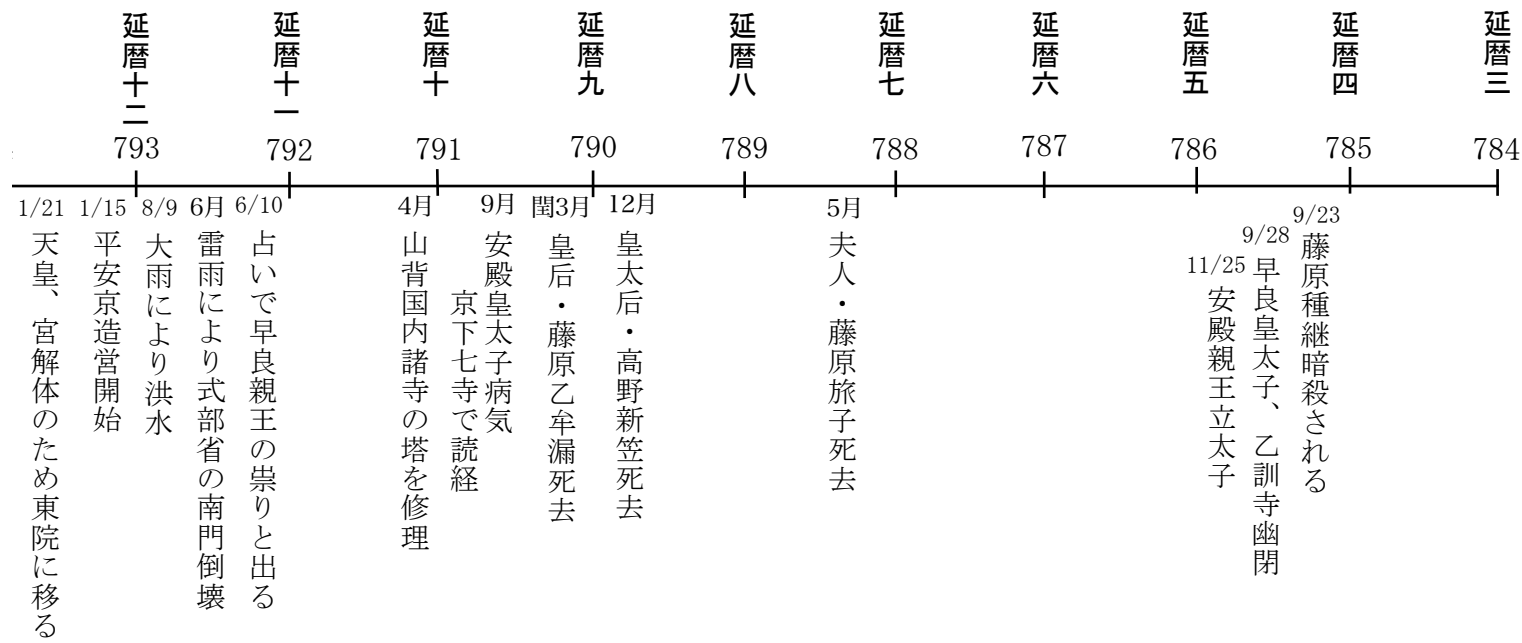
4図 鞆岡廃寺の軒瓦 2（長岡京期の搬入瓦）



5 図 鞍岡廃寺の軒瓦 3



6 図 藤原種継暗殺後の経過と寺院の利用

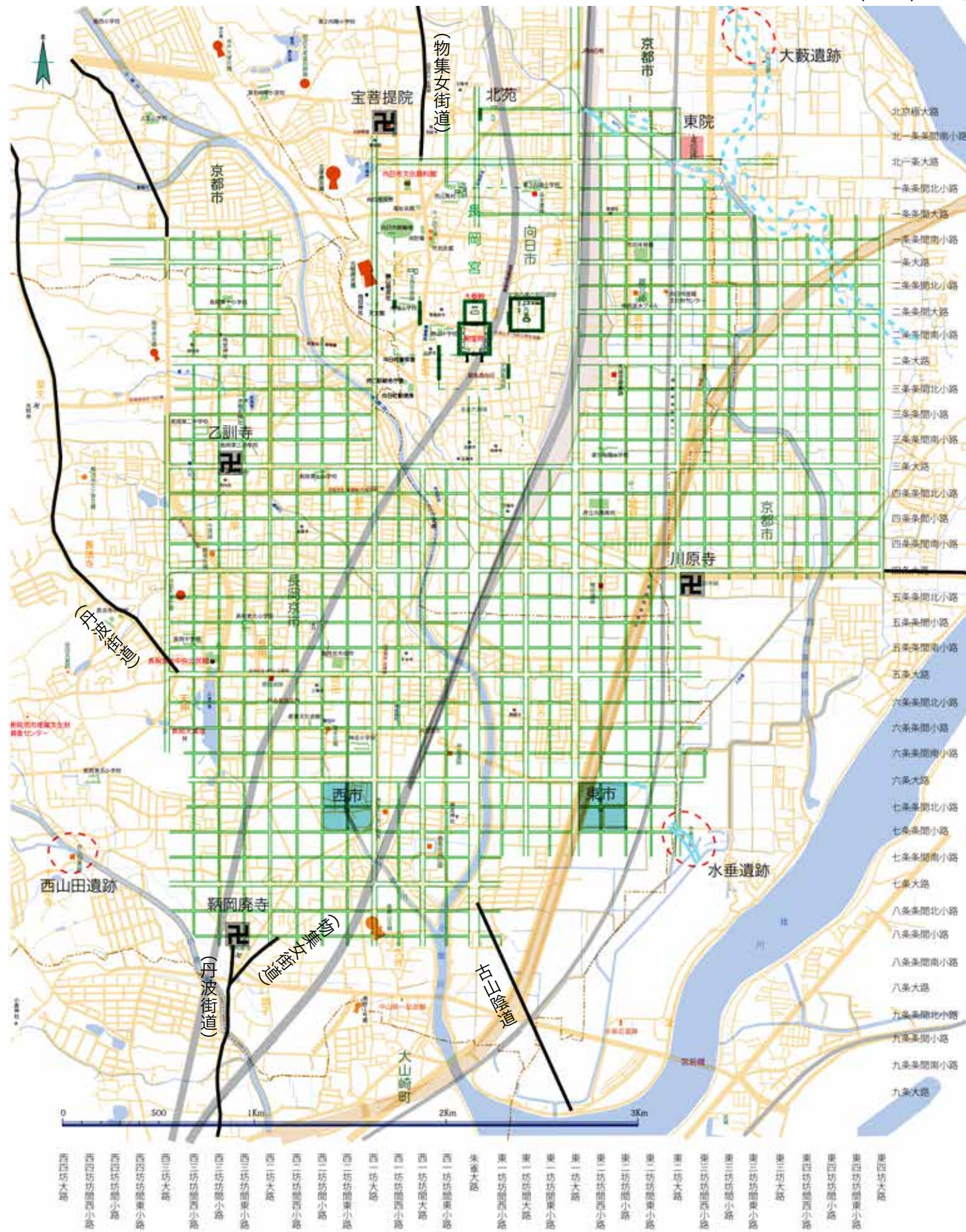


7 図 飛鳥・奈良時代の古道と寺院



8 図 長岡京期の道路と寺院（10 年間の完成予想図を元に作図）

國下多美樹 (2013) に加筆



9 図 京都盆地北部の道路と寺院（奈良時代～平安時代）

